

## (8) 教科内容先端研究センター

## ① 教科内容先端研究センター

## ア 設置の趣旨（目的）及び組織

教科内容先端研究センターは、先端的な専門諸科学の知見に立脚し、先端技術を活用しつつ、次世代のための教科内容を研究・開発することを目的として、令和元年度 10 月 1 日に設置された。組織は、センター長及び兼務教員の副学長 1 名及び教授 8 名、准教授 1 名で構成され、事務は研究連携課が担当している。

## イ 運営・活動の状況

学内教員 2 名が内田科学エネルギー振興財団の研究助成金を獲得し、上越市創造行政研究所と共催して、令和 2 年 2 月に連続フォーラムを実施した。フォーラムは、地域課題からみた学校教育の将来像というテーマで、第 1 回「自然共生社会の実現に向けて」（福井県立大学長）、第 2 回「持続可能な地域づくりの実現に向けて」（持続可能な地域社会総合研究所所長）と題して実施した。

## ウ 優れた点及び今後の検討課題等

今後は、引き続き教育関係機関への支援機能を果たしていくとともに、学校における教育課題に関わる質の高い連携と支援体制の整備及び全国的な先行モデルや先端的コンテンツを発信することのできる体制の整備を検討する。

## ② 運営委員会

## ア 設置の趣旨（目的）及び組織

## i) 組織設置の趣旨（目的）

教科内容先端研究センター会議は、先端的な専門諸科学の知見に立脚し、先端技術を活用しつつ、次世代のための教科内容を研究・開発することを目的としている。

## ii) 組織の構成及び構成員等

組織は、センター長（研究担当副学長）、学長が指名した本学教員（兼務教員）で、教授 9 名、准教授 1 名で構成される。

## イ 運営・活動の状況

## i) 委員会等の開催状況

10 月 23 日（水）に 1 回開催した。

## ii) 審議された主な事項

外部機関より受け入れた研究助成金を原資として、上越市創造行政研究所と共催で、「地域課題」からみた学校教育の将来像というテーマで講演会を開催することについて打ち合わせを行った。

## iii) 重点的に取り組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等

外部機関から研究費を受け入れ、講演会を行い研究成果を広く発信した。